

## 現場見学会 次第

主 催 一般社団法人大阪建設業協会  
協 力 三和建設株式会社  
日 時 平成 27 年 11 月 17 日 (火)  
14:00～16:00  
場 所 株式会社西島製作所藍野寮建替工事

### 1. 建設現場概要説明等

### 2. 現場見学

### 3. 質疑応答

見学時には引率者が付きますので、指示に従って行動をお願いします。

#### 【注意点】

- ① 安全のため、見学エリア以外には立ち入らないようお願いします
- ② 現場作業中の機械に注意。(引率者の指示に従ってください)
- ③ 工事機械、工具等には触れないようお願いします。
- ④ 足元が悪いので注意願います。

# 11月13日(金) 建設工業

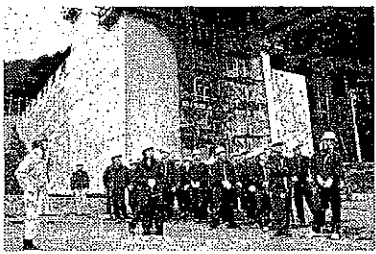
布施工高40人が  
和歌山岬道を見学

大建協

大阪建設業協会(大建協、奥村太加典会長)は11日、近畿地方整備局が

大阪府岬町で工事を進めている「第二阪和国道(和歌山岬道路)」の現場で見学会を開いた。写真。将来の担い手確保につなげるのが目的で、府立布施工科高校建築システム専科2年の40人が参加。工事途中の現場を歩き、橋梁の下部工や盛り土工などを学んだ。

見学会は、壺山建設が施工を担当する「和歌山岬道路中孝子地区本線改良他工事」など3現場で行われ、最初に工事担当者がトンネルや橋梁、盛土など道路の基本的な構造を説明。ボックスカル



パートや橋台、橋脚、盛り土など各工事の概要や進捗よく状況とともに、現場作業所の仕事内容なども紹介した。その後、歩いて各工事の現場を見学した。

完成したボックスカルパートでは、供用後は見えなくなるコンクリートの壁面に将来の夢を書いてもらい、「1級建築士になりたい」「施工管理士になりたい」など建設関係を目指す生徒も多く見られた。高架橋現場では間近に見る橋脚や橋台の大きさに圧倒されながら担当者の説明に耳を傾けた。

「施工管理は何をするのか」「土木と建築の違いは」「女性技術者は何人いるか」など質問も相次ぎ、普段見られない工事現場や仕事内容に興味津々の様子だった。

壺山建設の壺山信次専務は「建築を勉強しているからには建設業に一步でも足を踏み入れてほしい。皆さんは金の卵です」と述べ、最後に女子生徒が「将来は建設業に携わりたい。今日の経験を生かしたい」と話した。

# 布施工科高生ら40名が参加

## 和歌山岬道中孝子本線改良で現場見学 大建協

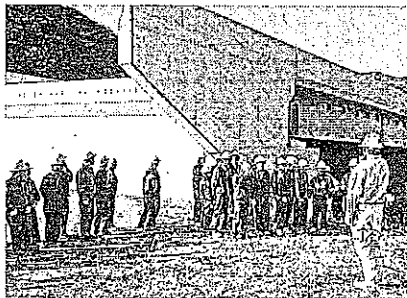
大阪建設業協会は、若年の建設従事者の入職促進事業の一環として11日、大阪府立布施工科高校2年生を対象に和歌山岬道路(第二阪和国道)中孝子地区本線改良工事で現場見学会を開催、同校の建築システム専科の生徒40名と教諭が参加した。同工事は近畿地方整備局の発注で、施工は壺山建設が担当。所在地・岬町孝子。

現場では道路の基本構架たあと、中孝子地区本線改良他、中孝子高架橋下部他、上孝子北地区改良の3つの現場を見学。橋台やボックスカルバート、橋脚、盛土などの工事の様子を見て回ったほか、ボックスカルバートの壁面に生徒たちにそれぞれ将来の夢を書いてもらっていた。

また生徒らは「土木と建築の違いは二年間で休暇は何日ぐらいか」「建設業で一番大事な気構えは」など担当者熱心に質問していた。



概要説明に聞き入る生徒ら



橋脚工事の様子を見学

### BOXカルバ

トを教室に

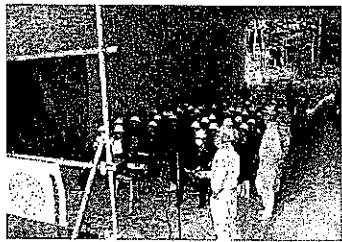
大建協  
布施工科高校の  
40人が現場見学

ボックスカルバートが  
教室に。11日に行われ  
た大阪建設業協会主催の  
現場見学会で、布施工科  
高校建築システム専科の  
2年生40人を招待した壺  
山建設は、同社が施工す  
る和歌山岬道路(第二阪  
和国道)の建設現場で築  
造したボックスカルバー  
トを教室として利用する  
など、粋な計らいを見せ  
た。

こうした見学会では、

現場作業所の会議室を利  
用することが多い。同社  
事業本部の壺山信次本部  
長は「建設業にいいイメ

ージを持ってもらうこと  
が将来の人材確保につな  
がる。大学卒、高校卒にか



BOXカルバ  
ートを教室として利用

かわらず一緒に働ける人  
材を求めている」と趣向  
を凝らした理由を説明す  
る。

今回の現場見学会では、  
ボックスカルバートの側  
面に生徒らが将来の夢を  
書いたり、ポッキーの日  
(11月11日)にちなんで

見学会を終えた生徒らにポ  
ッキーが配られた。

参加した女子生徒は、

「建設業界に入りたく  
思っている。きょうの経  
験を今後の勉強に生かし  
たい」と感謝の言葉を述  
べるなど、印象に残る見  
学会となったようだ。

# 布施工科高生が工事現場を視察

大建協見学会

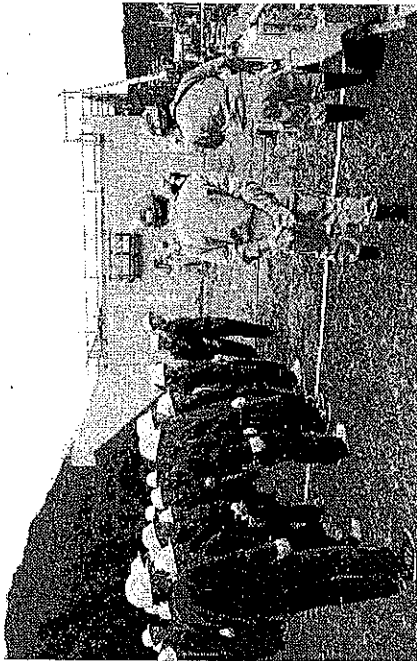
## 壺山建設施工 第二阪和・和歌山岬道路中孝子地区本線改良

(一社)大阪建設業協会による高校生を対象とした現場見学会が十一日に行われ、大阪府立布施工科高等学校建築システム専科二年の生徒四十人が工事進む「第二阪和国道・和歌山岬道路中孝子地区本線改良他工事」(大阪府泉南郡岬町、国土交通省近畿地方整備局発注、施工：壺山建設)の現場を見学した。

生徒らは用意されたバスに乗り、同校から出発。午後二時に現場に到着。建設現場で築造されたボックスカルバート内に集まり、壺山建設の現場代理人、監理技術者が、道路の基本構造(盛土、切土工、橋脚下部工)や工事概要などを説明した。

その後の見学では、躯体が構築されたボックスカルバートの側面に生徒達が将来の夢を書いたり、上部工が進む中孝子高架橋の様子を和歌山側のA字橋台の背面部から見て、そこで採用されている陸体盛土のテールメ(補強土壁)の説明を受けた。

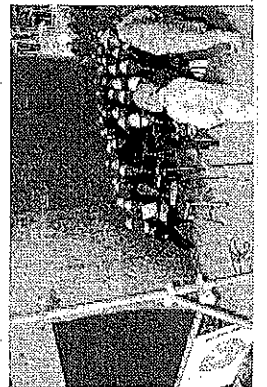
見学を終え、事前に生徒が用意していた質問にそれぞれが回答。なかでも女性技術者の比率を社会貢献など人々の生活の質には、「今後採用していく予定で、今回お縁にぜひ当社を考えてほしい」と呼びかけた。そして施工者を代表し、



最前線の建設現場の状況を目の当たりにした布施工科高等学校の生徒ら

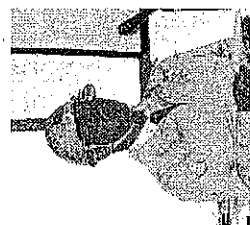
い」と述べた。

「第二阪和国道」(阪南市自然田～和歌山市大谷間二〇・六キ)は、大阪と和歌山を結ぶ国道26号の慢性的な渋滞等の解消を目的とした。二十三年三月に完成した箱ノ浦ジャンクション間二・八キを含めて、起算側から淡輪ジャンクション



ボックスカルバート内で工事概要、道路の基本構造の説明が行われた

て壺山建設の壺山信次専務取締役事業本部長が阪和加した女子生徒は「将来建設の仕事に就こうと願っている。今日の体験を今後に生かしていきたい



「ぜひとも建設業に入って下さい」と壺山専務取締役事業本部長

き「区間が暫定二車線開通済みで、この九月十二日に和歌山市大谷(大谷ジャンクション)～平井(平井ジャンクション)間二・八キが暫定二車線供用した。現在、淡輪ジャンクション～平井ジャンクション間七・六キが平成二十八年度暫定二車線開通供用に向け、工事展開している。